

研究機関：広島大学

研究課題名	蕁麻疹皮膚の形態及び経時的変化の数理的な解析
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科皮膚科学 准教授 田中暁生
研究期間	2021年3月12日(倫理委員会承認後)～ 2025年3月31日
対象者	2000年1月1日から2024年12月31日の間に、広島大学病院皮膚科を受診し、皮疹部分を写真記録した患者さん。
意義・目的	蕁麻疹は、皮膚の発赤（紅斑）と浮腫（膨疹）が出没する病気です。出現した皮疹はある程度の大きさになると拡大は収束して1日以内に跡形もなく消退します。患者さんにより皮疹の形や大きさ・広がり方は異なり、同じ患者さんでも治療により皮疹の出没の仕方も変化します。本研究では、蕁麻疹皮疹部分の写真を利用して、蕁麻疹がなぜそのような形状をとるのか、皮疹がどのようにして拡がるのかを広島大学大学院統合生命科学研究科の教室と連携して解析し、数理モデルを作成します。この数理モデルを構築することで蕁麻疹の皮疹に関与する未知の因子の存在がわかり、新たな治療法を確立でききるかもしれません。

方法

本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。

カルテから使用する内容は皮疹部分の写真（個人が特定できる顔面の写真は使用しません）、年齢、性別、イニシャル、蕁麻疹の病型、病勢、重症度、治療内容です。（個人を特定可能な情報は解析に用いません。）

共同研究機関

ありません。

試料・情報の管理責任者

広島大学 医系科学研究科皮膚科学 准教授 田中暁生

個人情報保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。